

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

平成 30 年度 第 7 回理事会議事録

開催日時： 平成 31 年 2 月 3 日（日）15 時 00 分～17 時 00 分

開催場所： 日本臨床検査自動化学会事務所（文京区本郷）

出席者： 康東天理事長、横田浩充副理事長、萱場広之理事、澤部祐司理事、
 〆谷直人理事、萩原三千男理事、日高洋理事
 白井秀明監事、村上正巳監事

欠席者： 通山薫理事、和田隆志理事、栢森裕三監事

議題 1. 理事長挨拶

康東天理事長より、年末の多忙な折に第 7 回理事会にご参集頂いたことへの謝辞があった。

1-1. JACLaS との打ち合わせ報告（国際セッションについて）

- ・先週 JACLaS と“継続的に国際セッションを実施するための仕組み作り”について協議した。来年度以降、(仮称)アジア交流セッションまたは(仮称)国際交流セッションを、本大会とは別会計として開催する計画を進めている旨の報告があった。

議題 2. 報告事項

2-1. 総務職務報告（横田副理事長）

- ・1月17日(木)、JACLaS に第 51 回大会の企業協賛セミナーの趣意説明を行った。大会長から学会趣旨説明、学会テーマ、国際化セッション、機器試薬セミナーの充実、開業医向けのセッション等の説明を行った。各セミナーに対する企業の応募状況は順調である旨の報告があった。

2-2. 各地域担当からの報告

- 1) 北海道・東北地区：特になし。
- 2) 関東地区：澤部理事から、過去 3 年分の学術集会等で 5 演題以上の実績を基に評議員候補者のピックアップし、30 名ほどの候補者を抽出した。大学院生も含まれているため年齢や会員歴などを追加調査し、今回 5 名程度の評議員を推薦したいとの報告があった。なお山梨県と長野県が、関東と東海・北陸の何れに含まれるのか、事務局に確認することとした。
- 3) 東海・北陸地区：特になし。

- 4) 近畿地区：本日の審議事項 3-3 にて評議員追加の審議をお願いしたい。
- 5) 中国・四国地区：特になし。
- 6) 九州地区：次回理事会に評議員 5 名ほどを推薦する予定との報告があった。

2-3. 50 周年記念誌編集案（資料 1）

- ・ 萱場理事より、資料の「5.コンテンツ」に関して、
 - ③学会誕生と活動について、本 WG から中井先生、杉浦先生、渡辺先生を推薦するとの提案があった。
 - ⑧統計資料に、本事業に中心的に関わった方の苦勞話を入れてはとの報告があり、上記三名の先生には、康理事長から依頼打診をすることとした。

2-4. JACLaS Award について（資料 2）

- ・ 横田副理事長より、JACLaS Award の案内が日本臨床検査教育協議会に所属する 85 校と所属していない 5 校に発送されたとの報告があった。
- ・ Award1 は学部生以下を対象とし、4 月 12 日まで演題募集し優秀 5 演題程度を選抜し 10 月 4 日の学生演題枠にて発表してもらう。表彰と賞金 ¥10,000 を贈呈する。
- ・ 大学院生(社会人大学院生は除く)は、一般演題枠に大学院生の旨を付記してエントリーしてもらい、優秀 5 演題程度を選抜し 10 月 4 日の大学院生演題枠にて発表してもらう。表彰と賞金は ¥20,000 を贈呈する。
- ・ Award1 の選考に漏れた学部学生には、一般演題としての発表を勸奨する(大会参加費を免除)。また、大学院生の年会費の減免に関しては、今後再検討することとした。

2-5. その他

- ・ 横田副理事長より、仮)病理検査技術委員会に関する報告があったが、審議事項 3-8 にて協議することとした。

議題 3. 審議事項

3-1. 細則改訂案（事務局：石川）（資料 3）

- ・ 事務局より資料に基づいて、役員任期に関する細則変更の説明があり、審議の結果、提案通りで承認された。

3-2. 選挙管理委員会内規（資料 4）

- ・白井監事より資料に基づいて、選挙管理委員会内規の説明があった。

要訂正箇所

第1条：本会→本委員会

第4条：本会→本委員会

第7条：二行目以降の括弧項番→全角括弧としピリオドを削除

以上を修正した上で内容を承認とし、気付いた点があれば次回理事会にて再度議論することとした。

本内規の施行日は、本日(2019年2月3日)とした。

- ・第1回選挙管理委員会を2月19日(火)に開催する旨、報告があった。

3-3. 評議員推薦 (資料 5~8)

- ・日高理事より、資料に基づいて4名の評議員推薦者について説明があり、西山有紀子候補者の最終学歴の記載に関して確認した上で、評議員推薦を承認した。
- ・京都大学検査部長も理事長の特別推薦で評議員を打診し承認する方向とする。

3-4. 日本臨床検査医学会学術集会への共催シンポジウム (資料 9)

- ・事務局より資料に基づいて説明があり、共催シンポジウムの承認と、コーディネーターを萩原理事が担当してテーマやシンポジストの選定を進めることで承認された。

3-5. 委員会委員異動申請 (資料 10~12)

- ・日高理事より、資料に基づいて説明があり審議の結果、3名の委員の交代が承認された。

3-6. 演題登録として利用するシステムについて (事務局：石川)

- ・現在開発中のG-Systemの演題登録システムのバックアップ策として、従前のUMINシステムに演題データを手入力する、との説明があったが、G-Systemを利用して演題登録を進めることを確認した。

3-7. 転載許諾願い (萱場理事) (資料 14)

- ・本申請は、引用だけなので許諾は不要であることを確認した。

3-8. 技術委員会の改変について (報告事項 2-5 その他を、審議事項に変更)

- ・先日、遺伝子病理検査診断の研修会に参加した。そこで病理関係者は自動化学会に参加しづらいとの意見があった。
- ・病理関係者にも自動化学会に参画してもらうために、(仮)病理検査技術委員

会の立ち上げては如何か。

・立ち上げることは良いことだが、遺伝子プロテオミクス技術委員会との棲み分けを確立しておく必要がある。

- ✓ 現遺伝子の委員会に病理分野も加える
- ✓ 感染症のプロテオミクスは微生物検査・感染症委員会に移行する
- ✓ 常置 WG または小委員会を設置し検討する
- ✓ 画像関連は医療情報委員会へ集約する
- ✓ 新たな委員会を設置するのではなく「遺伝子・分子病理委員会」とし、病理に特化した小委員会を設置し検討を進める。

・上記を理事会の方向性とし、4月の春季セミナーの委員長会議にて、名称と棲み分け等の方向性について諮った上で、各委員会にて活動内容も含めて議論してもらうこととした。

3-9. 第51回大会モーニングセミナーのテーマについて

・本年度の大会にならない宮地大会長に、モーニングセミナーに相応しいテーマを決定してもらうこととした。

議題4. その他

4-1. 次回開催日程

・康理事長より、以下について説明・確認があった。

(1) プログラム委員会：

2019年4月26日（金）11:30～12:30 ホテルライフオート札幌

・大会について宮地大会長から事務局に以下の連絡があった。

- ✓ ポスター発表を、会議センター(学会会場)の4階を使用して行う予定。
- ✓ 一般演題の演題募集時に「口演/ポスター」の希望を選択することとしたい。

・理事会として、大会2日目(金曜日)の午後に企画を入れることがないよう大会長に再度確認する。

(2) 平成31(2019)年度第1回理事会：

2019年4月26日（金）12:30～15:30 ホテルライフオート札幌

4-2. 学会名の改称について（資料13）

・康理事長より本会の活動内容に即し、国際化に向けて学術団体としての位置づけを明確化するため、本会の名称を「日本臨床検査(科)学会（案）」とすることについて説明があった。

- ・学会名称を変更する意図には異論はなく、英名は問題ないが和名が他学会との違いが分かりづらいとの意見があった。
- ・本件については、次回の理事会より前のタイミングで理事会(案)を決定し、6月の定時社員総会または10月の臨時社員総会に諮り年内に決着することとした。

以上

平成31年〇月〇日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理事長

康東天 (康)

議事録署名人
(出席監事)

白井秀明 (白)

議事録署名人
(出席監事)

村上正巳 (村)